

健康寿命延伸産業の創出に向けて
～本WGにおける今後の検討事項

2014年3月

みずほフィナンシャルグループ

株式会社みずほ銀行

産業調査部

1

グレーゾーン解消を図るべき事項

2

事業環境整備に向けたその他の論点

©2014株式会社みずほ銀行

- ▶ 本資料は金融ソリューションに関する情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の取引の勧誘・取次ぎ等を強制するものではありません。また、本資料はみずほフィナンシャルグループ各社との取引を前提とするものではありません。
- ▶ 本資料は、当行が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、当行はその正当性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、貴社ご自身の判断にてなされますよう、また必要な場合は、弁護士、会計士、税理士等にご相談のうえお取扱い下さいますようお願い申し上げます。
- ▶ 本資料の著作権は当行に属し、本資料の一部または全部を①複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、②当行の書面による許可なくして再配布することを禁じます。

1

グレーゾーン解消を図るべき事項

- **公的保険を使わず**、健康寿命延伸に資するサービス・製品を、**収益事業として**継続的に提供

≡ 民間事業者による、**予防効果**の高いサービス・製品の提供

「セルフメディケーション※」の構成要素

※介護予防を含む

分類	定義	対象	キーワード	実施事項
疾病予防	病気にならないようにする	全国民 (中高齢者に重点)	気付き	健診・ドック 兆候の予知・捕捉
			正しい生活習慣	運動 栄養 睡眠
介護予防	要介護状態にならないようにする	高齢者に重点	つながり 体力・筋力維持 引きこもり防止	コミュニティ参加 運動 就労

(出所)みずほ銀行産業調査部作成

「セルフメディケーション」は産業化しているか

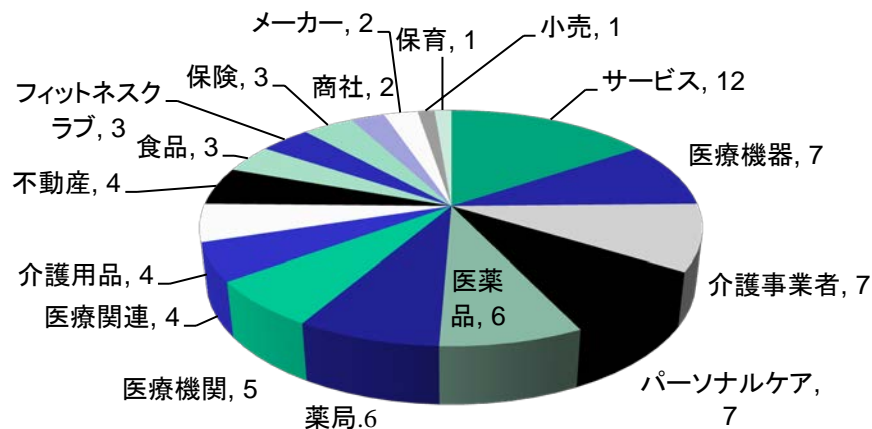
【結論】大きくは産業化していない

⇒グレーゾーンの存在が問題の一つ

⇒この解消が「セルフメディケーション」市場を創出・育成する一つの方法論

グレーゾーンに関し、幅広い業種/企業とディスカッション

※ 主に医療・介護周辺に 17業種77社（2月現在）



産業化に向けた課題

- ① 法の枠組み等の整備・明確化
- ② インセンティブの付与（需要・供給）
- ③ 事業採算の確保（民間事業者）
- ④ 既存事業者等との調整

（出所）みずほ銀行産業調査部作成

2

事業環境整備に向けたその他の論点

事業環境整備に向けたその他の論点(案)

資金 (カネ)

■セルフメディケーション産業の「収益事業化」に向けた論点

- インセンティブ策（供給者、需要者）、ディスインセンティブ策（需要者）
- 企業への支援（エビデンス取得に向けた助成等）
- サービス・製品への認証（お墨付き）の付与 ……品質評価WGと連携
- デバイスやICTの積極活用（遠隔地見守り、センシング）による効率的事業展開

地域 (モノ)

■セルフメディケーション産業の創出・育成の仕組みに関する論点

- コミュニティ形成を促進する枠組みのビジネス化
- 地域に点在している予防事業に関するベストプラクティスの集約・横展開
- 地域におけるシーズとニーズのマッチング策
- 既存事業者等との円滑な合意形成の枠組み整備（協議会等）

人材 (ヒト)

■セルフメディケーションに関わる人材活用に向けた論点

- 専門人材（薬剤師、看護師等の医療周辺有資格者）の活用
- 高齢者就労環境の整備（企業への啓蒙、制度設計）
- 保健事業の効率的活用を提案する健康コンサルティング事業の育成